

会議録件名 2018年度第11回“夢”まちプロジェクト推進会議	主管課 町田市経済観光部産業政策課
日時 2019年3月29日（金） 午後1時30分～午後3時30分	場所 町田まちづくり公社 地下1階会議室
出席者 【委員】 大塚議長、井上副議長、米増委員、宮本委員、立木委員、鈴木委員 【中心市街地活性化協議会事務局】 町田商工会議所 三嶋氏、 町田まちづくり公社 佐藤氏、鈴木氏 【市事務局】 産業政策課 遠藤担当係長、増井、萩原 地区街づくり課 田中担当係長	

〈主な決定事項〉

- ・中心市街地活性化協議会の全体会議の一部をワークショップの開催とする。
- ・過去にシバヒロで使用したイルミネーションの球数等を調べる。
- ・次年度の会議は、従来通り毎月第三木曜日の午前中に開催することとする。

1 「まちづくり計画」について

(1) 中活協からの報告

【まちづくり部会】

- ・実証実験の分析をしている
⇒3月12日に行った荷捌きの実証実験の結果を分析している。5月に発表する予定。
次回のまちづくり部会に、地区街づくり課も出席する。
- ・来年度のテーマの検討
⇒出席者が少ないことを懸念している。来年度は、重点である17時から19時の車両の進入禁止に、荷捌き車両も含めた実験を行いたい。警察と運送業者と一緒に検討したく、その組織作りを来年度に行う。

【にぎわい部会】

- ・玉川大学の報告はまだ完成していない
- ・イルミネーションの提言あり
⇒部会への報告はこれからだが、昨日、丸々先生からイルミネーションの提言があった。以前、シバヒロでイルミネーションを実施した時の在庫があれば、活用したい。次回の部会は4月11日予定。
⇒在庫については、リスト等を確認して事務局経由で回答します。また、当時の球数等は分かるかもしれないが、現在は忠生6小に保管されており、そのまま全てが使用できるのかは不明。

【広報部会】

- ・2月以降の部会は開催していない。グーグルカレンダーの入力や3月後半のタウンニュースへの広

報に向けて体制を整えている。

⇒4月に部会を開催して、どこまでオープンにするのか検討する。

【その他】

■中心市街地活性化協議会への事前の情報提供について

- ・市での中心市街地で行っている情報を中心市街地活性化協議会に事前提供できないか。
⇒来年度の5月以降、中心市街地活性化協議会を月1回開催したらどうか。その中で、市の情報も含めて事前提供してほしい。これからイベントが続くのと、関係地権者に計画等の話を持っていく前には、必ず情報提供してほしい。
- ・夢まちプロジェクトの実施スケジュールを最新に更新してほしい
⇒検討します。

■ワークショップによるビジョンの共有について

- ・(2) 市からの報告にある通り、「原町田中央通りの未来を考えよう！！」にてワークショップを実施
⇒今回はプレとして開催したが、今後は中心市街地活性化協議会と街づくりのビジョンを共有したい。今後は、中心市街地活性化協議会の全体会議の一部をワークショップの実施とし、ビジョンを共有することが重要。そこで共有したビジョンの実現を目的として、共催の事業を実施していきたい。
⇒街づくりの事業を実施する上で、どうしても補助金の取得が目的となってしまいがちであるが、補助金はあくまでも事業実施の手段であり、目的ではない。

(2) 市からの報告

【地区街づくり課】

- ・3月28日開催「原町田中央通りの未来を考えよう！！」の実施報告
⇒36名が参加。講師の小野寺さんが模型を使っの歩行者優先による回遊性の向上について議論や、真野先生を主体に参加者と原町田中央通りをどうしていきたいのかのワークショップを開催した。このような議論を繰り返し行い、未来のビジョンを共有することが必要。

【産業政策課】

- ・原町田大通り及び東急ツインズ横公開空地での実証実験の実施報告
⇒東急ツインズ横公開空地は多くの人に利用してもらった。原町田大通りの実証実験の実現に向けて、交通管理者である警視庁の許可がおりない。再度、計画を練り直したい。中心市街地活性化協議会と一緒に地域の説得を得たい。
- ・町田市議会（2019年第1回定例会）
⇒原町田一丁目自動車駐車場の会場時間を変更（24時間へ）するとともに、駐車料金に利用料金制を導入する変更となります。

2 その他

(1) 次回会議の開催予定について

次回会議は、4月18日（木）の10:30～12:00とする。

次年度の会議は、従来通り毎月第三木曜日の午前中に開催することとする。